

税理士とおるゼミ(Ⅰ) 簿記論 貸借対照表編 (2010年9月23日第2版第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいようお願いいたします。

2012.12.26

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
3-18	解答	① 174.400 ② 36.200 ③ 50.800	① 176.000 ② 37.500 ③ 49.500	
3-19	解説 2 勘定分析	貸倒引当金勘定の借方 貸付金 24	貸倒引当金勘定の借方 貸付金 50	2012.12.26
		貸倒引当金勘定の残高 後T/B 2.778	貸倒引当金勘定の残高 後T/B 2.752	
	解説 3 yの算定	$(225,500 \text{千円} - y) \times 0.04 + (y - 138,500 \text{千円}) \times 0.02 + 550 \text{千円} \times 0.04 = 2,778 \text{千円}$ $\Rightarrow (9,020 \text{千円} - 0.04y) + (0.02y - 2,770 \text{千円}) + 22 \text{千円} = 2,778 \text{千円}$ $\Rightarrow -0.02y = 3,494 \text{千円}$ $\Rightarrow y = 174,700 \text{千円}$	$(225,500 \text{千円} - y) \times 0.04 + (y - 138,500 \text{千円}) \times 0.02 + 550 \text{千円} \times 0.04 = 2,752 \text{千円}$ $\Rightarrow (9,020 \text{千円} - 0.04y) + (0.02y - 2,770 \text{千円}) + 22 \text{千円} = 2,752 \text{千円}$ $\Rightarrow -0.02y = 3,520 \text{千円}$ $\Rightarrow y = 176,000 \text{千円}$	
	解説 4 後T/B項目の算定	受取手形: 174,700千円 - 138,500千円 = 36,200千円 売掛金: 225,500千円 - 174,700千円 = 50,800千円 貸倒引当金: 2,778千円	受取手形: 176,000千円 - 138,500千円 = 37,500千円 売掛金: 225,500千円 - 176,000千円 = 49,500千円 貸倒引当金: 2,752千円	
<参考> 仕訳 (1) 売掛金 ③受手回収	(借)受取手形 174,700 (貸)売掛金 174,700	(借)受取手形 176,000 (貸)売掛金 176,000		
3-20	<参考> 仕訳 (3) 貸付金 ③貸倒(修正)	(借)貸倒引当金 24 (貸)貸倒損失 24	(借)貸倒引当金 50 (貸)貸倒損失 50	
		前期貸付金には24千円しか貸倒引当金を設定していないため、取崩しも24千円しかできないことに注意して下さい。	削除	

ISBN978-4-7810-3415-7

C1034 ¥2200E